

【教育実践報告】

令和元年度園芸班 活動報告

井上広大¹・島田温史²・山路利英¹・有山浩司²・園芸班・飛田有支³・浅田真一³

はじめに

園芸班は農学部の有志学生が集う学部公認団体である。令和元年度は13年目となる。

令和元年度の園芸班の活動

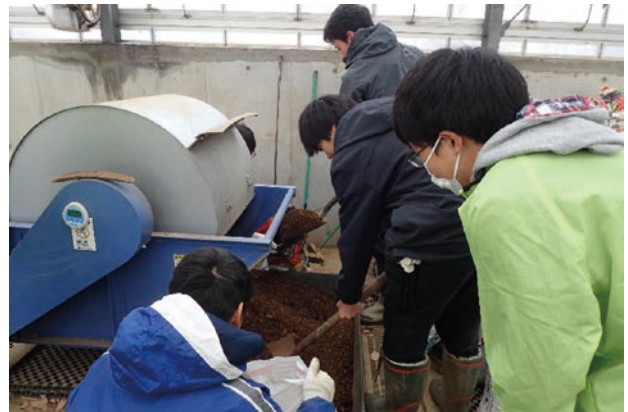
令和元年度は、下記に示すような活動をしながら野菜、花などの栽培に力を入れてきた。

令和元年度の主な活動

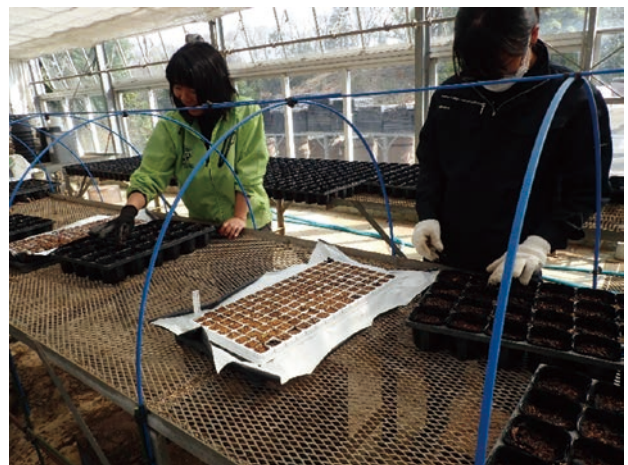
- 5/13 中学年（5年生）「稲作の学習」の補助
- 7/31 エダマメ収穫（生産加工班との共同作業）
- 8/2 流しそうめん（新入生歓迎会）
- 8/4 オープンキャンパスでケイトウとオジギソウを配布
- 11/9, 10 収穫祭で展示発表および野菜販売
- 12/10 幼稚部「キウイフルーツの収穫体験」の補助

① 学内の美化活動

学内美化のためにチューリップ、マリーゴールド、ピオラなど季節の花の栽培を行った。花苗は学内農場内の温室で栽培し、灌水、間引き、鉢上げなどの管理作業を適宜行った。学内を常に美しく彩るために、プランターや花壇に定植した花は、定期的に交換した。



鉢上げ用の培養土作り



花の鉢上げ

¹ 玉川大学農学部環境農学科 玉川学内農場 東京都町田市玉川学園6-1-1

² 玉川大学農学部生産農学科 玉川学内農場 東京都町田市玉川学園6-1-1

³ 玉川大学農学部生産農学科 東京都町田市玉川学園6-1-1

② K-12「稲作の学習」の補助

中学年（5年生）の「稲作の学習」にて、播種、田植え、稲刈り、脱穀、粃すり精米の補助を行った。活動中は、中学年生達に稲作について知識を深めてもらうため、分かりやすく説明できるように心掛けた。説明をすることによって、学んだことの復習になると共にさらに理解を深めることができた。また、体験の待ち時間には学内農場の見学を行い、他の作物との違いを伝えた。



種籾の播種作業の補助

③ オープンキャンパスへの参加

8月のオープンキャンパス時に、ケイトウとオジギソウの配布を6号館前で行った。ケイトウとオジギソウは、2か月前から100粒ずつ播種を行い、順調に生育した合計100株を配布した。管理中はダニなどの病害虫を定期的に防除した。当日は、オープンキャンパスの来校者に農学部の魅力を知っていただくため、より丁寧な対応を心掛けた。



ケイトウとオジギソウの配布準備



稲刈り作業の補助



来校者へ花の配布

④ 生産加工班との連携活動

生産加工班と協力し、学内農場でエダマメを栽培した。圃場では、園芸班がエダマメの播種からトンネル張り、収穫の仕方を説明しながら共同で作業を行った。普段農場に来る機会のない生産加工班の学生にも分かり易く、丁寧に教えることでより理解が深まった。



エダマメの播種について説明

⑤ 収穫祭

収穫祭の期間中に6号館での展示と野菜販売を行った。展示では、栽培した野菜の実物展示を行い、断面を見せる工夫をしたことで、品種の特徴を分かり易く伝えることができた。野菜販売では自分たちで考えたレシピも配布した。



生産した野菜の販売



エダマメの収穫



実物展示による活動報告